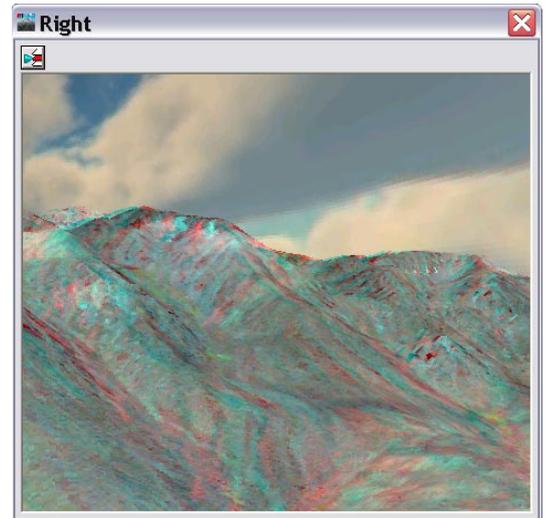
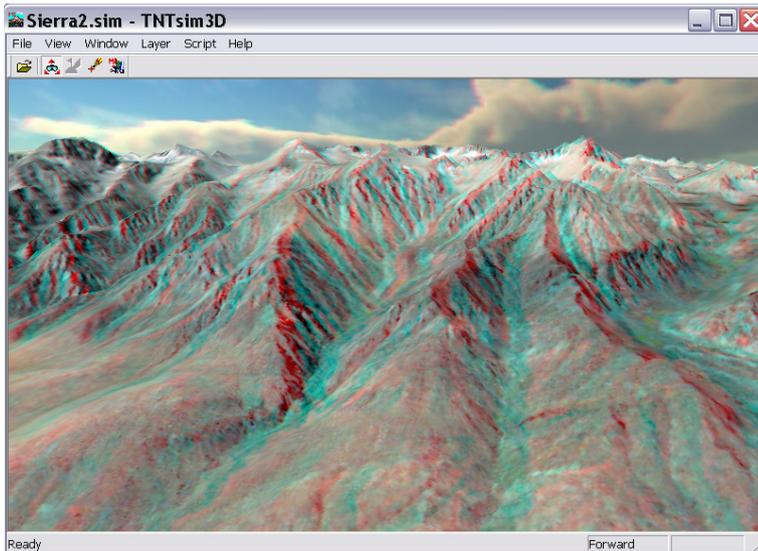


ステレオ立体表示

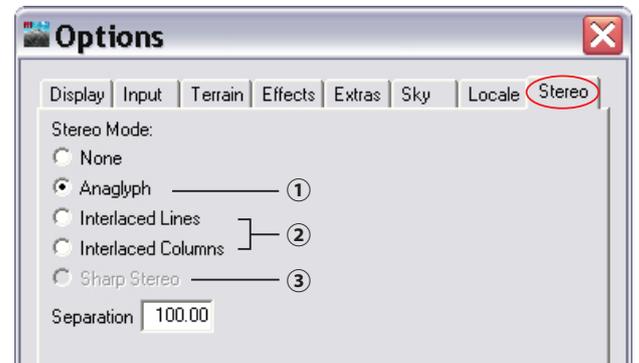
より実物らしく見えるように、TNTsim3Dでは3D景観を多方向からステレオ(立体)でレンダリングするオプションを提供しています。いくつかのステレオ表示モードが可能です。①カラーフィルタメガネを用いるアナグリフモード、②液晶シャッターメガネを用いる横インターレースや縦インターレース、および③ステレオモニタです。

どのステレオモードに於いても、TNTsim3Dはユーザが選択した分離距離を使い各フレーム毎に左右別々の画像を計算します。これらの画像はグラフィックカードのフレームバッファとハードウェアアクセラレータを使って各フレーム毎にレンダリングされるので、レンダリングスピード的にはそれほど大きな負荷にはなりません。



カラーフィルタ(赤青)ステレオメガネ用のアナグリフステレオモードを使用。TNTsim3Dのメイン表示画面(上)と右側からの表示画面。開いている全ての画面(Map(平面図)表示を除く)は指定されたステレオモードでレンダリングされます。

〈オプション〉ウィンドウの[ステレオ]パネルからステレオモードを選択します。



ステレオレンダリングをしない場合のTNTsim3Dメイン画面の画像の細部(下、左図)と2種類のインターレースステレオモードでの表示。インターレースモードは液晶シャッターメガネを使用します。どちらのインターレースモードを使用するかステレオ機器の仕様を確認してください。縦インターレースモードはシャッターメガネは使わずに数機種種のステレオモニタでも使用できます。



標準(ステレオ無し)



ステレオ：縦インターレース



ステレオ：横インターレース